

①課題

- ・学校の理念・目的等は、入学説明会や入学時のオリエンテーション、そして学生便覧を一人ひとりに配付しているが、保護者へ十分に周知されているかという点と十分とは言えない。
- ・学校の将来構想は描いているが、新型コロナウイルスの対応を優先して具体的な取り組みが先送りとなっている。
- ・専門学校における職業教育の特色について、各教員が共通した認識を持ち、教育にあたる必要がある。
- ・将来構想や業界ニーズに関しては、常に社会情勢に敏感でなければならない。学内での常識と社会情勢とを精査する機会を設けて変化する業界のニーズ等に対応していくことが必要である。

②今後の改善方策

- ・学校の理念・目的等について、体系的でわかりやすい図を作成する。
- ・保護者も参加する入学説明会やオープンキャンパス時に、教育理念等を伝えるように工夫する。
- ・ホームページに教育理念を掲載しているが、教育目標を簡潔明瞭にして、学生等に周知されるように努める。
- ・新型コロナウイルスの対応も適宜できるようになってきたので、最善の注意をはらいながら、将来の構想への取り組みを進めていく。
- ・専門学校の目的と意義について認識を深めることで、より適切に取り組まれるものと思われる。
- ・教職員に対する研修制度等の充実が必須である。

(2) 学校運営

評価項目	※1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・本校に関係する法令等は、学校教育法、児童福祉法(施行令・施行規則含む)、社会福祉士及び介護福祉士法(施行令・施行規則含む)、社会福祉法(省令含む)、保健師助産師看護師法(施行令・施行規則含む)である。その他、労働法規等も含め、法令遵守の観点から各法令を確認する体制が必要。
- ・法令遵守だけでなく、地域の中でどのような教育活動を行うべきかを再確認する。

②今後の改善方策

- ・学校長を中心に、自己点検・自己評価会議開催時に各規定の変更有無等を確認して常に最新の規定に則って運営する。
- ・構成員は事務長、各科長、教務部長、広報部長、キャリア支援部長、主任により。(運営会議でも可)

(3) 教育活動

評 価 項 目	※1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・履修認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・留学生へのサポート強化が必要。
- ・臨地実習先の実習指導者と連携を密にとり、評価基準等の共通認識が必要。
- ・教職員の専門分野における研修や資質向上について、外部からの研修案内等には参加を検討し、対応しているが、本校としての定期的な研修も強化していく必要がある。
- ・コロナ禍による遠隔授業について、ハード面ソフト面ともに質を高める必要がある。

②今後の改善方策

- ・非常勤講師の授業に留学生をサポートする補助員を配置した。
- ・内部、外部を含めて、研修ができる時間の確保をする。
- ・学科を超えて、教員間でそれぞれの授業を参観して、意見交換ができる場をつくる。
- ・ハード面は徐々に購入をしていく。ソフト面は zoom 等、使用する教職員への研修を実施する。

(4) 学修成果

評 価 項 目	※1
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	2
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・コロナ禍により例年行っている学内就職ガイダンスを自粛する。これに代わる企画が必要である。
- ・介護社会福祉科について、国家試験受験対策を実施しているが、計画的及び体系的に強化する余地がある。
- ・退学について、一人ひとりの能力、精神状態、家庭環境、経済状況等を面談の中で掌握して適切に対応をしていくよう取り組む。
- ・卒業後、あかね会という同窓会があるが、卒業生の参加が少ない。

②今後の改善方策

- ・日時を工夫して、福祉現場で活躍する卒業生と在校生との情報交換会や交流の機会を新たにつくる。
- ・介護福祉士国家試験受験対策について年間計画を立て、計画的・体系的に実施する。
- ・クラス担任制であり、学生のシグナルをキャッチできるよう日頃から心がける。些細なことでも、週1回の学科会議で気になる学生の情報を共有して、学科で取り組む。
- ・卒業前にあかね会（同窓会）の説明をし、総会や懇親会への参加を呼びかける。
- ・コロナ禍により役員との会合が取れていない。今後、魅力ある同窓会組織にしなければ活性化しないので有効なイベント等の企画も考慮して検討していく。

③特記事項

あかね会が活性化すると、卒業生が就職している施設間の繋がりや、世代を超えた繋がりができ、母校を起点として福祉分野及び医療分野の繋がりができる。結果的に就職支援に直結できるような形成をめざしたい。

(5) 学生支援

評 価 項 目	※1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	3

・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・コロナ禍による就職での面接もオンラインで行われることも想定して、「オンライン面接」の対策が必要である。
- ・学生からの相談は多岐に渡るので、必要に応じて専門機関と連携するなどの采配が必要である。できる限り学生に寄り添い、適切な対応を行う。

②今後の改善方策

- ・オンライン面接の練習を実施する。
- ・オンラインでのガイダンスの際、教員が横でフォローをする体制を整備する。
- ・学生の相談で、学費問題は奨学金や各種奨学金の窓口。身体的な問題は医療機関。家庭の問題は市区町村福祉の窓口等、適切な機関へ繋いでいけるよう図る。
- ・前年度に引き続き、心理カウンセラーを配置する。

(6) 教育環境

評価項目	※1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・各教室に黒板を設置しているが、チョークの消しにくさにより教室が汚れる。
- ・学生の学習机と椅子が経年劣化している。危険な状態ではないが買い替えの時期である。
- ・火災、地震、津波、凶悪犯侵入等の対応マニュアルの整備

②今後の改善方策

- ・黒板をすべてホワイトボードにする。
- ・学習机と椅子を買い替える。
- ・津波による避難は高石市の避難計画と連携し整備する。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	※1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・パンフレット及びホームページをより魅力的に作成する。
- ・高校ガイダンス等、高校生に対して本校の教育活動を周知し、楽しさと有意義さを強調する。
- ・オープンキャンパス等のイベントでは、新型コロナウイルス感染防止対策を万全にする。

②今後の改善方策

- ・ホームページは常に最新の情報を掲載するよう毎日チェックする。
- ・本校のアピールポイントを整理し、誤解なく伝えられるよう全教職員が事前に学習する。
- ・施設の除菌清掃、手指消毒液の設置、入館時の顔認証体温測定器の設置等を行っているが、それを油断なく活用するようにする。

(8) 財務

評価項目	※1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・学生数を確保するためには、教育、施設、人材すべてにおいて質を高めることが肝要である。
そのために、質の向上を全員が意識して研鑽に努める。

②今後の改善方策

- ・資料請求者を増やすために、効果のある媒体業者を増やす。資料請求者が来校して頂くよう SNS や DM を使って育てる。オープンキャンパスに注力し、来て頂いた人が出願するよう図る。
- ・収支関係を定期的に会議の場で公表して、質の向上への取り組み意識を保つようにする。
- ・ホームページへは引き続き掲載する。

③特記事項

- ・資料請求者の内容も動機がしっかりしている人もいれば、動機が曖昧な人もいる。資料が多いとコストもあがるので、動機が薄い人へは簡易的な資料を送り、経費削減を図る。

(9) 法令等の遵守

評価項目	※1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
・学校関係者評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・学校関係者評価結果を公開しているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・専修学校設置基準等を定期的に確認する。
- ・コロナ禍により学校関係者評価等、書面での開催となった。対面での開催対策、または遠隔での開催での進行手法等の検討が必要である。

②今後の改善方策

- ・教職員全員が閲覧できる共有サーバーへ専修学校設置基準を保存する。いつでも閲覧できるように周知する。
- ・学校関係者評価委員会を zoom にて開催を検討する。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	※1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・地域のニーズが何なのか。情報収集を行う中で、何ができるのかを検討する。
- ・ボランティア活動の情報発信を多くする。
- ・看護学科では2019年度、全員が社会問題や支援の現場を意識してのボランティアを実施したが、2020年度はコロナ禍でできなかった。2021年度はコロナ禍のなか、どのように実施していくかが課題。

②今後の改善方策

- ・本校の教育環境及び人的要員でできる催しを考える。
- ・大阪府委託訓練事業（介護福祉士と保育士）を毎回受託できるよう、教育内容と就職支援に注力する。
- ・看護学科はボランティアの情報発信を行いながら、社会の問題や支援の現場を、学生自ら意識し探すように指導をし、コロナ禍でも実施できる範囲で行う。